

令和５年度 施政方針

令和５年３月定例市議会の開会に当たりまして、令和５年度に臨む、施政の基本方針を申し上げ、市民の皆様、並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

（安心・安全に住み続けられる地域づくりの実現へ）

昨年１０月、市長に就任以来およそ４カ月が経過いたしました。この間も、選挙公約に掲げた政策の実現に向けて努力を致してまいりましたが、令和５年度が市長として編成する初めての当初予算となります。

現在の飯山市は、人口減少・少子高齢化が顕在化している状況であり、昨年８月には市制施行以来はじめて人口が１９,０００人を割り込む状況となったところではありますが、まずは、この地に住む市民の皆様が、安心・安全に住み続けられる飯山市の実現に向けて邁進する所存であります。

市民・事業者・各種団体・行政など、地域づくりに関わるすべての担い手の皆様と問題意識を共有し、一緒に考え、協働で地域づくりを進めていけるよう、取り組んでまいります。

(国、県の状況)

ここで、市政を取り巻く国や県の状況等を申し上げ、ご理解を賜りたいと存じます。

1月23日に閣議決定されました「令和5年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」では、令和5年度は世界経済の減速は見込まれるものの、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」の効果の発現が本格化し、「人への投資」や成長分野における官民連携の下での投資が促進されることから、実質GDP成長率は1.5%程度、名目GDP成長率は2.1%程度と民需主導の成長が見込まれております。

国の新年度予算案は、「歴史の転換期を前に、我が国が直面する内外の重要課題に対して道筋をつけ、未来を切り拓くための予算」とされており、一般会計総額が114兆3,812億円と、前年度当初と比べ6兆7,848億円、6.3%増の予算規模となり、新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰対策予備費として4兆円が計上されたところです。

長野県におきましては、次期総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン3.0」の基本目標である「確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る」の実現に向け、5つの政策の柱に沿った予算が編成され、「女性・若者から選ばれる県づくり」など、8つの「新時代創造プロジェクト」の始動に向けた予算の計上とともに、コロナ禍や価格高騰、自然災害から県民生活を守るため、

長野県総合経済対策及び令和４年度 11 月補正予算と一体的に令和５年度予算が編成されました。新年度一般会計予算総額は、過去最大となった前年度と比較し 393 億円、3.6%の減、令和４年度 11 月補正予算を加えた予算総額では 1 兆 1,082 億円となったところです。

このような状況の下、飯山市において令和５年度は、今後 10 年間の市政運営の最も基本となる第 6 次総合計画の初年度の年であります。今議会でも議案として提出しておりますが、令和 14 年度までの 10 年間の基本構想(案)を策定したところです。飯山市が目指す 10 年後の将来のまちの姿と、それを実現するための基本的な施策の方向性を示したものであります。人口減少・少子高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症のまん延による人々のライフスタイルの多様化及びデジタル技術の急速な進化など、飯山市を取り巻く状況は大きく変化しています。市財政の厳しい状況に変わりはありませんが、時代の変化に対応する中で、子どもから高齢者まで住みやすく、安心して生活を送ることができる飯山市づくりを進めてまいります。

市民各位、議員各位のご理解ご協力をお願い申し上げます。

(令和５年度予算概要と重点施策)

それでは、新年度予算の特徴と、施策の概要を申し上げます。

予算総額は、一般会計で 162 億 7 千万円、前年度比 9 億 3 千万円、6.1%

の増であります。歳入では、市税を前年度同額の 23 億 9 千万円、地方交付税を前年度比 1 億 8 千万円、3.3%増の 56 億 5 千万円を計上し、国県支出金のほか、ふるさと納税を活用した基金等の活用、市債等で歳入確保をいたしました。

歳出では、令和 5 年度から建設工事を始める新たな小学校づくりや道の駅拡張整備事業など、継続して取り組んでいる事業のほか、子育て支援や元気な地域づくりなど、選挙公約に基づく重点政策と第 6 次総合計画 基本構想（案）に掲げる基本目標と整合を図りながら、目標達成への着実な推進に重点をおいた予算を編成したところです。

以下、新年度の重点施策に関わる事業についてご説明申し上げます。

一つ目は、「子育て支援」であります。

「飯山市で子どもを産み育てたい」と思うことが出来るよう、子育て世代を支援してまいります。

現在、医療機関等の窓口で負担いただいている 500 円の支払いについては、これを市が負担することにより、18 歳までのすべての子どもの窓口医療費について完全無償化し、子どもの健康増進、子育て世帯の経済的負担軽減等を図ってまいります。

公約に掲げました学校給食費の無償化につきましては、段階的な実施の第

一弾として、令和5年度においては、小・中学校給食費の4割軽減に取り組み、さらに、保育園給食費についても、既に副食費無償化となっている3歳以上児に加え、3歳未満児の給食費無償化を実施します。

また、昨年末「新統合小学校開校計画推進会議」により、校名案を「飯山虹の丘（にじのおか）小学校」と選定いただきました新たな小学校の整備につきましては、令和7年4月の開校に向け、校舎や周辺道路などのハード面の整備と並行して、通学方法のあり方や児童クラブの運営等につきましても、保護者の皆様をはじめ、関係する皆様からご意見をいただく中で準備を進めてまいります。

二つ目は、「元気な地域づくり」であります。

安心・安全な、住みやすい元気な地域づくりの実現に向け、令和5年度においては、現在飯山市で活動いただいている4名の地域おこし協力隊員に加え、新たに20名を任用し、地域外の人材の知識・経験・感覚も積極的に受け入れ、地域課題の解消等に向けた活動に取り組んでいくとともに、隊員の定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図ってまいります。

昨年12月から除雪困難世帯の雪下ろし支援等に取り組んでおります「雪かき支援員制度」につきましては、今冬の実証試験の結果等を踏まえ、冬の市民生活を守り、雪に困らない地域づくりに向けた支援体制を構築したいと考えております。

三つ目は、「2028 年国民スポーツ大会に向けた取組」です。

令和 10 年(2028 年)に長野県内で開催が予定されております第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会で、冬の大会のスキー競技会場として戸狩温泉スキー場、長峰スポーツ公園、飯山シャンツェを、夏の大会ではカヌーのスプリント競技会場として北竜湖での実施に向けた準備を進めてまいります。カヌー競技の普及及び地元選手の育成のほか、令和 5 年度では、北竜湖での競技用カヌーコースの設計に着手し、市組織として「国スポ準備室」を設置してまいります。

四つ目は、「産業振興への取組」であります。

新型コロナウイルス感染症の国内での感染が初めて確認されてから丸 3 年が経過する中、国では、本年 5 月には、感染症法上の位置付けを「2 類相当」から「5 類」に引き下げることとされましたが、未だ全国各地において終わりが見えない状況が続いており、引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と社会経済活動の両立を図っていく必要があります。

昨年 10 月に農業観光振興拠点施設としてリニューアルオープンした道の駅「花の駅 千曲川」では、地域の農産物を販売する農産物直売所に多くのお客様をお迎えすることが出来ており、かなりの賑わいをみせています。今年の秋には、併設されるアクティビティ拠点施設のオープンが予定されており、今後、ますます期待が持てる施設となります。飯山市の魅力発信を担う拠点

とするとともに、施設を活用することにより、地域経済の好循環が図れるよう取り組んでまいります。

以上、新年度の重点施策に関わる事業の概要を申し上げましたが、持続可能な社会実現に向けたカーボンニュートラルへの取組として、市庁舎をはじめとした市の施設の照明 LED 化や、脱炭素先行地域選定に向けた取組なども推進してまいります。

新たな基本構想に掲げる将来のまちの姿「飯山郷創（きょうそう）～世界にひらく 里山の未来～」の実現に向け、基本目標に基づく各施策に取り組むことで、魅力的な“郷（ふるさと）”を創ってまいります。

市民の皆様の一層のご協力をお願いするとともに、議員各位のご支援ご協力を心よりお願い申し上げ、所信表明と致します。

令和 5 年 2 月

飯 山 市 長 江 沢 岸 生